

1. 内政

・21日、フィラト自由民主党党首及びルプ民主党党首は、共産党が2週連続で内閣不信任決議案を提出したことを問題視し、今後同様の行為が繰り返されないよう議会規則の改正が必要である旨発言。22日、議会は、共産党が17日に提出したレアンカ内閣の不信任決議案を否決。

・21日、フィラト自由民主党党首は、2014年11月30日に次回総選挙を行うべきであるとし、同選挙後に選挙法改正を行う必要がある旨発言。

・23日、フィラト自由民主党党首及びルプ民主党党首は、与党連合は11月3日にキシナウにおいてモルドバの欧州統合路線を支持する大規模集会を開催する意向である旨発言。

2. 経済

▼マクロ経済

・21日、経済省は、モルドバの2013年経済成長見通しを前回予想の4.0%から5.5%に引き上げた旨発表。

・21日、国家統計局は、2013年8月期のモルドバ全体の平均月収が、対前年同月比9.4%増の3,832モルドバ・レイ(約297米ドル)と発表。平均月収が最も高い部門は金融で7,652モルドバ・レイ(約594米ドル)、最も低い部門は漁業の1,883モルドバ・レイ(約146米ドル)と農業の2,394モルドバ・レイ(約186米ドル)。

・25日、財務省は、2013年1～9月期でモルドバの国家債務が7.7%増加し228億モルドバ・レイ(約17.7億米ドル)に達した旨発表。

3. 外政

▼レアンカ首相のフランス、ベルギー訪問

・23日、ストラスブールを訪問したレアンカ首相は、ブロック欧州議会外務委員会委員長及びスヴォボダ欧州議会社会民主進歩同盟グループ代表等と会談し、モルドバの欧州統合路線の枠組みで実施されている国内改革の現状等に関し協議。同日、同首相は、フィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員と会談し、ビリニウス・サミット前後のモルドバの欧州統合に向けた優先課題に関し協議。双方は、2014年9月ま

でに連合協定に署名するために必要な改革のための行動計画を確認。

・24日、レアンカ首相は、ブリュッセルを訪問し、アシュトン外務・安全保障政策上級代表と会談。双方は、ビリニウス・サミットまでの優先課題及びサミット後のプログラム、沿ドニエストル地域へのDCFTA適用問題等に関し協議。同日、レアンカ首相は、ブリュッセルで開催された欧州人民党大会に出席。

▼ビルト・スウェーデン外相及びシコルスキ・ポーランド外相の来訪

・22日、レアンカ首相は、来訪したビルト・スウェーデン外相及びシコルスキ・ポーランド外相と会談し、モルドバの欧州統合路線及び東方パートナーシップ首脳会合の準備状況等に関し協議。両外相は、モルドバの司法制度の近代化及び欧州統合路線の維持の必要性を強調し、一方、同首脳会合における連合協定仮署名及び2014年内の署名を確認している旨表明。シコルスキ外相は、モルドバは東方パートナーシップ諸国のリーダーであり、ポーランドはモルドバ国民に対するEU査証免除化を支持する旨表明。

▼ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相のスペイン訪問

・22日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、スペインを訪問し、ガルシア＝マルゲージョ外相と会談。両外相は、両国協力関係の活性化に関し協議し、教育・文化・学術、関税、犯罪及び不法移民対策分野における両国協力に関する協定に署名。ガルシア＝マルゲージョ外相は、モルドバの欧州統合路線を支持する旨表明。

▼その他

・25日、ティモフティ大統領は、ミンスクで開催されたCIS首脳会合に出席し、モルドバの欧州統合プロセスに関し説明。

・25日、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長は、EUはビリニウス・サミットにおいてモルドバとの連合協定に仮署名する用意がある旨表明し、2014年に同協定が署名されることを期待する旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)